

## 第18回 のむら復興まちづくりデザインワークショップ

野村地区の復興まちづくりについて話し合う「のむら復興まちづくりデザインワークショップ」。令和5年2月11日（土）に開催した第18回目の内容を報告します。

【日時】 令和5年2月11日（土）13:00～16:30

【場所】 野村支所3階大会議室

【協力】 愛媛大学、東京大学復興デザイン研究体

【参加者】 42名

【内容】 ○野村小学校復興水辺域プロジェクト報告

○現地フィールドワーク「乙亥・まちなかエリア」の確認

○グループワーク「乙亥・まちなかエリア」の具体的な活用検討 など

## 野村小学校復興水辺域プロジェクト報告

「復興にかかわる活動がしたい!」。その言葉から始まったプロジェクト。

野村小学校5年生と6年生は「総合的な学習の時間」を活用して、地域の良さや課題を探求し、積極的に地域社会に参画しようと様々な復興まちづくり活動を行っています。今回はその1年間の活動の成果を報告しました。

## 5年生の活動報告

5年生の活動テーマは「環境と暮らしのつながりを体感しよう」。野村高校生と一緒に取り組んださつまいもやひまわりの栽培、肱川の水質を知るための水生生物調査などを報告しました。

さつまいもは苗植えから収穫、販売までを一貫して体験。野村をひまわりで一杯にしたいと自分たちで取った種を配るなどもしました。

報告をした児童は「地域を少しでも元気付けることができ、自分たちも地域の一員であると実感できた」と感想を述べました。

## 6年生の活動報告

6年生は「過去を学び、現在、未来につなげる」をテーマに、防災学習を中心に活動を行いました。「未来の防災倉庫を置くならどこ」と題し、復興まちづくりエリアの安全性を高めるため、防災倉庫を設置したら良い場所を提案。

参加者から「児童たちの真剣さが伝わった。設置を是非実現してほしい」と意見が。市から、防災倉庫設置に向けて準備を進める旨を回答しました。また、併せて「野村の復興シンボル」を考案。このシンボルデザインは市の所有する倉庫のシャッターに描かれました。



活動の様子はこちらからご覧いただけます♪

野村小 水辺域プロジェクト

検索



## 現地フィールドワーク「乙亥・まちなかエリア」

今回のワークショップで議論する「乙亥・まちなかエリア」(○をつけた場所)は、まちや商店街とのつながりを創出する上で重要なエリアになります。まず、スケール感や高低差などの条件を確認するため、現地でフィールドワークを行いました。



「思った以上に広い」「既存の樹木を生かしたい」「隣接する道から想像以上に高低差があった」など、普段見慣れた場所でも、改めて目的を持って現地を見ることで新しい気づきがたくさんありました。これらをグループワークに生かします。



### グループワーク

乙亥・まちなかエリアの具体的な活用を検討するため、グループワークを実施。「どんな活用をしたいか・できるか(日常・イベント的)」と「活用を実現するために、どのようなものが必要か」の2つの視点に着目し、参加者それぞれが現地で気付いた点などを持ち寄り、アイデアを出し合いました。



#### どんな活用ができるか

○イベント会場として活用  
○キッチンカー  
○ビアガーデン  
○移動式カフェ  
○パブリックビューイング  
○プロジェクションマッピング  
○スクリーンを置いて映画鑑賞  
○イルミネーション  
○石垣を生かしたライトアップ  
○体操、ヨガなど軽い運動  
○木陰で休憩  
○川を眺めながら休憩  
○幼保小中高の遠足、学習イベント  
○箏曲部の発表会  
○(乙亥)太鼓の演奏会 など

#### どのようなものが必要か

○トイレ  
○広場の排水・水はけ確保  
○柔らかい素材の地面  
○車道と広場の区切り  
○駐輪・駐車場  
○照明  
○電源設備  
○イベントステージ  
○防災倉庫  
○消防用道路が円滑に活用できるように  
○昇降式のポールで公園と道を区切る  
○広く使えるスペース  
○効率的な管理方法を構築  
○キッチンカー等が乗り入れられる道  
○景観と調和した照明計画 など

また、このエリアの活用に関して事前に各団体からヒアリングをして作成した年間活用スケジュールのイメージも報告しました。

#### 【年間活用スケジュールのイメージ】

1月	駅伝、軽トラ市	7月	軽トラ市、ビアガーデン、復興イベント
2月	駅伝、バレンタインイベント	8月	盆踊り大会、花火大会
3月	軽トラ市	9月	軽トラ市、竹あかりイベント
4月	お花見	10月	文化祭、ジオサイクリング
5月	軽トラ市、朝霧湖マラソン大会	11月	軽トラ市、乙亥大相撲(サブイベント)
6月	緒方ラボ など	12月	イルミネーション



その他、広場の中にある樹木の活用についても「災害を乗り越えたシンボルとして残したい」「広く使うため移植を含め検討したい」など多様な意見が出ました。今後もワークショップを重ね、設計内容や活用方法などを具体的に決めていきます。

【お問い合わせ先】 西予市 復興支援室 電話：0894 (72) 0843